

# 価値創造フロー

住友化学は、銅の製錬による煙害の防止を目的にした肥料の製造から事業の歩みを開始しました。そこから、住友の事業精神をはじめとする企業理念に沿って、100年以上にわたり事業を成長させてきました。肥料会社から化学会社へ、そして総合化学企業へと発展を遂げる中で、当社の核となる強み、つまりコア・コンピタンスを確立しました。この総合化学という業態とコア・コンピタンスを、経営資源として最大限活用し、「経営として取り組む重要課題」や「中期経営計画」に取り組むことによって、社会のさまざまな課題を解決するとともに当社の企業価値の向上を実現します。そして、そこで新たに生まれた経済価値、社会価値をまた当社の経営資源として蓄積し、持続的な成長を目指します。

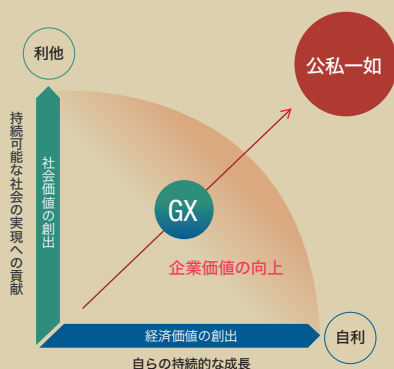
## これまで培ってきた経営資源は何か？

その長い歴史の中で培ってきた経営資源は、一つの技術が新たな技術や製品を呼ぶことでできた総合化学という業態と、それを支え、当社の強みの核となっているコア・コンピタンスです。

## 当社のルーツ

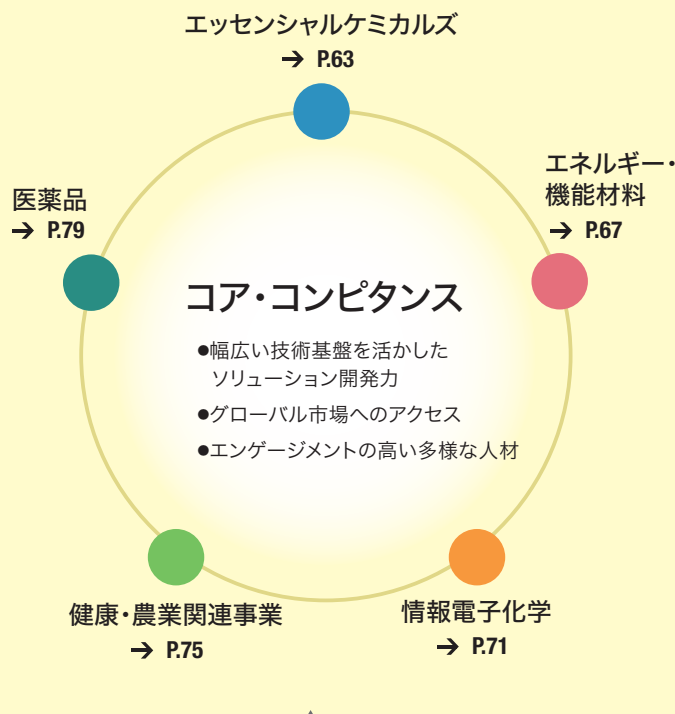
当社は、住友の事業精神をはじめとする企業理念に沿って、100年以上にわたり事業を成長させてきました。これまでも、そしてこれからも、社会価値と経済価値を共に創出することを大切にしていきます。

- 住友の事業精神 → P.15
- 住友化学の経営理念 → P.15
- サステナビリティ推進基本原則 → P.16
- 企業価値向上のイメージ → P.16



時代の変化に合わせ、広義のGX(カーボンニュートラル、生態系保全、健康促進)の観点を加えて絶えず事業を変革していく

### 総合化学という業態







# そして 何をもたらすのか?

## 何に取り組むのか?




これらの経営資源を活用し、「経営として取り組む重要課題」、そしてその重要課題を足元の計画に落とし込んだ「2022-2024中期経営計画」に取り組んでいます。

### 経営として取り組む重要課題

#### 社会価値創出に関する重要課題 → P.37

-  環境分野への貢献
-  食糧分野への貢献
-  ヘルスケア分野への貢献
-  ICT関連分野への貢献

#### 将来の価値創造に向けた重要課題 → P.49

-  イノベーションの推進
-  DXによる競争力強化
-  人材(DE&I、育成・成長、健康)

#### 事業継続のための基盤 → P.57

### 足元の計画 2022-2024 中期経営計画 → P.31

- 事業ポートフォリオの高度化(事業の強化と変革)
- 財務体質の改善
- 次世代事業の創出加速
- カーボンニュートラルへ向けた責務と貢献
- デジタル革新による生産性の向上と事業強化
- 持続的成長を支える人材の確保と育成・活用
- コンプライアンスの徹底と安全・安定操業の継続

### 経営資源の蓄積

経営資源を活用し、「経営として取り組む重要課題」や「中期経営計画」に取り組むことで社会のさまざまな課題解決に貢献するという価値をもたらします。また同時に、安定して収益を生み出し、自社の経済成長も実現します。この一連の流れが、当社の価値創造フローです。

### 社会価値の創出

#### 環境分野

地球環境回復と  
人と自然が共生する世界の実現

#### 食糧分野

食糧の安定確保と環境との  
調和の実現

#### ヘルスケア分野

世界中の人々の健康的な生活の確保

#### ICT関連分野

ICTを活用した包摂的な社会の実現

### 経済価値の創出

安定した収益性と健全な財務体質の実現

KPI	2022年度 実績	2024年度 中期計画(修正)	目指す姿
ROE	0.6%	8.5%	10%以上
ROI	-1.3%	4.7%	7%以上
D/E レシオ	1.0倍	0.7倍台	0.7倍程度
配当性向	421.2%	-	30%程度